月刊みんぱく 2018 3月号

編集後記

本号で表紙の右上に「みんぱくは開館40周年を迎えました」と銘打たれた『月刊みんぱく』は最後となる。そうした号を、みんぱく開館前の収集をテーマとする特別展「太陽の塔からみんぱくへ――70年万博収集資料」と関係する万博資料収集団の特集で、幸いにも飾ることができた。編集室としても、本館とも関係の深いテーマだけにまだまだ取り上げたいトピックがあり、企画段階で絞り込むのに苦労した。

ところでこの欄を執筆している時点で、正月のテレビ番組で日本人のコメディアンが顔を黒塗りしたことが、一部で議論を巻き起こしている。小生はテレビを一切見ないので詳細は不案内だが、本誌2017年７月号の特集「異国をまとう」でまさにこうした問題を扱っただけに、議論の行く末を興味深く見守っている。ご関心のある向きはぜひ本誌のバックナンバーもご覧いただけると幸いである。

なお今号が刊行される3月をもって印東道子教授（本誌の第10代編集長）、横山廣子教授が退職となる。『月刊みんぱく』へも長年にわたりご寄稿いただきました。ありがとうございます。（丹羽典生）

●表紙：ＥＥＭが収集した世界の仮面。写真：六田知弘
（左上からケニア、ハンガリー、マレーシア：K0006473、韓国、コロンビア）

次号の予告

特集

「障害で気づく、障害が築く」（仮）

みんぱくをもっと楽しみたい人のために――会員制度のご案内

国立民族学博物館友の会

本館展示の無料入館や特別展示の観覧料割引にくわえ、『月刊みんぱく』や会員機関誌『季刊民族学』などの定期刊行物や、毎月の友の会講演会、セミナーなどを通して多様な文化の情報を提供しています。

みんぱくフリーパス

1年間、本館展示へ何度でも無料で入館いただけます（特別展示は観覧料割引）。他にも、みんぱくを楽しむための特典がいっぱいです。

国立民族学博物館キャンパスメンバーズ

みんぱくと大学等教育機関との連携を図り、文化人類学、民族学にふれる学びの場を提供することを目的とした会員制度です。

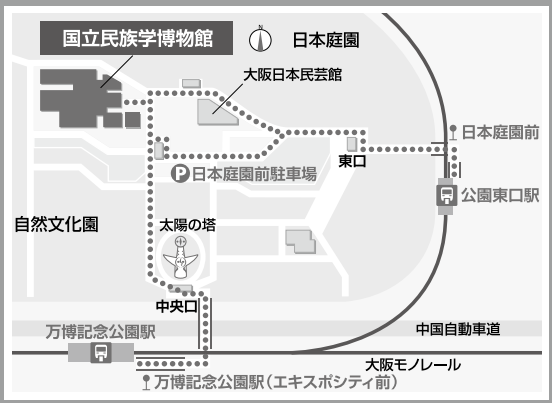
詳細については、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
（電話06−6877−8893／平日9：00 ～ 17：00）

月刊みんぱく 2018 年 3 月号
第 42 巻第 3 号通巻第 486 号　2018 年 3 月 1 日発行

編集・発行　人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話　06-6876-2151

発行人　園田直子
編集委員　丹羽典生（編集長）　寺村裕史　三島禎子
南真木人　山中由里子　吉岡乾
デザイン　宮谷一款　長岡綾子
制作・協力　一般財団法人 千里文化財団
印刷　能登印刷株式会社

＊本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。
＊本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



交通案内
●大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
●阪急茨木市駅・ＪＲ茨木駅から近鉄バスで「万博記念公園駅（エキスポシティ前）」「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
●乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」（有料）から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
●タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れできます。

みんぱくホームページ
http://www.minpaku.ac.jp/
みんぱくフェイスブック
https://www.facebook.com/MINPAKU.official/
みんぱくツイッター
https://twitter.com/MINPAKUofficial

国立民族学博物館
National Museum of Ethnology